

オズの安全・安心 街づくり実践

その3

AM9:00

川崎市内で初めて商店街主催の防災訓練を実施！

避難訓練は東京直下型の震度6の地震が発生と想定の下、商店街内放送とともにスタート



3箇所に分かれて集合し、神奈川県警の指導のもと、中原平和公園まで避難



思わず口を押さえる煙体感ユニット



起震車に乗って大きな揺れを体験



開催日時：平成 25 年 1 月 20 日 (日) 午前 9 時～11 時
主 催：モトヌミ・オズ通り商店街、木月 2 丁目町会
共 催：中原区役所、中原警察署、中原消防署
中原消防団
実施内容：①商店街から避難場所（中原平和公園）までの避難訓練
②公園での防災訓練（消火訓練、起震車体験、心肺蘇生訓練、煙体感ユニット）

オズの地域（防災訓練地）

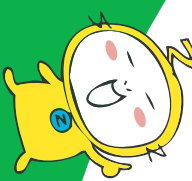
その1

救命士講習会を開催し、商店街の??人が受講

昨年の東日本大震災をきっかけに商店街が地域に貢献できる「安全・安心」の取組を始めています。平成 24 年度の第 1 弾として、9 月 13 日（木）に JA セレソ元住吉ホールにて、川崎市消防局中原消防署の協力で「普通救命士講座」を開催しました。
この日集まったのは、商店街組合員 23 人、近隣のみなさまが安心して商店街をご利用いただけるよう、有事の際に対応ができるように、心肺蘇生法、AED 使用法、大出血時の止血法について約 3 時間受講しました。



全員が公園に集合したところで、町会長、商店街理事長があいさつ



その2

木月小学校との「まちなが安全教室」を実施

9 月 24 日には、オズ通「安全・安心プロジェクト」街組合員と一緒に学校からあるものは何？と考えた店の人のインタビューも寄せていただきました。



消火器を実際に使ってみました



いさという時の心肺蘇生術

震災等が発生した際には、商店の安全確保を行い、来街者や来店の方々に避難誘導し、安全・安心の街づくりに貢献できるよう、防災訓練を実施しました。訓練では、まず商店街から避難場所までの避難訓練を行い、続いて避難場所において消火訓練などの防災訓練を実施しました。商店街が主催して防災訓練を実施したのは、川崎市内では初めてのことで、約 120 名という多くの方に参加いただきました。
今回の訓練では、商店街ツイッター、商店街ゆるキャラ「おすつちよ」ツイッター、商店街メールマガジンを活用し、避難情報や訓練情報をリアルタイムで発信して、広く地域のみならずさまじくに向けて災害時の情報を提供する試みを行いました。震災時では携帯電話のメール機能が使えないことが予想されるため、ツイッターには有効かもしれません。
「おすつちよ」ツイッターでは、訓練の状況を写真とともにレポートしました。メールマガジンからは、震災発生直後のタイムリートを想定して、訓練開始と同時に広域避難場所、避難所、商店街 AED 設置場所、救急病院などについてお知らせしました。

終了のあいさつ後、町会が備蓄していた非常食「アルコフ米」の炊き出しを実施

AM10:30



アルコフ米を皆で試食



もし、東京湾北部地震が発生したら!? 地震被害想定調査結果マップ

冬の午後6時頃、東京湾北部を震源とする大規模な地震が発生しました！
その時、元住吉周辺ではどんな被害が発生するのでしょうか？
神奈川県の地震被害想定調査結果マップでは次のような想定をしています。



● 震度分布図

元住吉周辺は震度6弱！

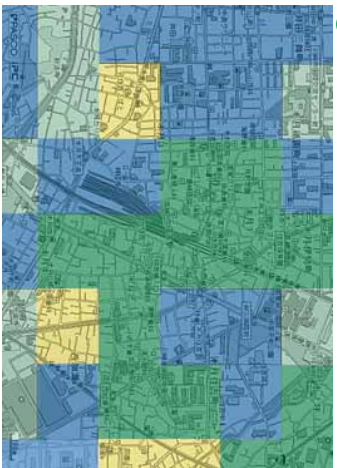


元住吉周辺ではほぼ全域にわたって震度6弱の強けが発生しそうです。（一部地域では震度5弱）

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6弱とは？
(気象庁HP)

● 建物の全壊棟数想定図 20棟未満の全壊が...

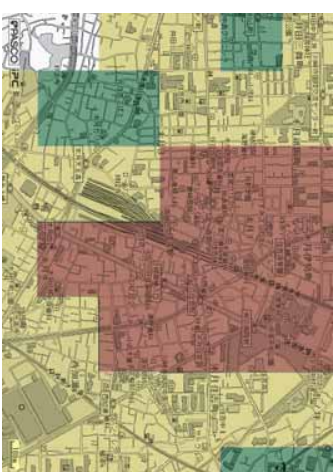


元住吉周辺ではほとんどが20棟未満の建物が全壊するとされる地域になっています。しかし、一部では50棟未満の全壊が考えられる地域もあります。

<出典：神奈川県 地震被害想定調査結果マップ e-かなマップ>

● 液状化想定図

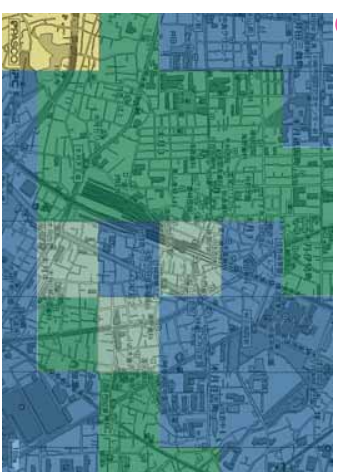
液状化の可能性が極めて高い！



元住吉周辺では液状化の可能性が「極めて高い」か、「高い」と考えられる地域となっています。十分に注意が必要です！

● 火災による焼失棟数想定図

延焼の危険性？



今回の地震では津波の被害は沿岸部ですが、火災の可能性もあります。それぞれの地域で10棟未満の火災発生と想定されています。延焼の危険性があります。

震度分布図		液状化想定図	
6弱	可能性が極めて高い	極めて高い	延焼の危険性が高い
5強	可能性が高い	高い	延焼の危険性がある
20棟以上50棟未満	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある
10棟以上20棟未満	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある
5棟以上10棟未満	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある
1棟以上5棟未満	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある	延焼の危険性がある

前もって少し気を付けておくことで安心♪ 減災に向け危取り組み！

普段からちよつとしたことや、準備を進めておくことで減災につながります。
用意しようとは思っているんだけど...なかなか実現しないものですが、
この機会に是非！いざ事が起こってからでは間に合いません。ご家庭にも安心を！

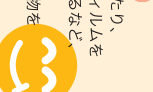
● ガラスの飛散防止

CASE 001

改善前
窓や棚などのガラスの破損は、大げかの原因となります。また、高層ビルから落下するガラスは人命も奪いかねません。



改善後
ガラスを強化ガラスや網入りガラスにしたり、窓や事務用棚などのガラスに飛散防止フィルムを貼ったり開き戸にストッパーを張り付けるなど、落下防止対策を行います。避難経路には割れやすい物、壊れやすい物を置かないようにしましょう。



● 非常用食料・飲料水の確保

CASE 003

改善前
災害時には手に入らないという状況が起きますので、非常用食料や飲料水を備蓄しておきましょう。



改善後
阪神・淡路大震災時には、長期間にわたってライフラインが途絶え（水道30日間、電気7日間都市ガス84日間）、食料の流通も途絶えました。数日間は自力での生活が、おきましよう。



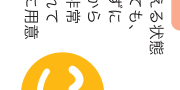
● 停電時等の対策

CASE 002

改善前
懐中電灯など非常用電源装置を備えていないと、停電時に不便を感じたり、不安な思いをします。



改善後
懐中電灯を複数常備し、いつでも使える状態にしておきましょう。停電時においても、電池式の携帯ラジオなら場所を選ばずにいつでも聞くことができます。普段から身近な場所にラジオを置き、併せて非常持ち出し品をまとめて袋の中に入れておきましょう。予備の電池も忘れずに用意しておきましょう。



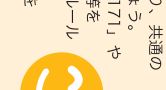
● 家族の連絡方法を定める

CASE 004

改善前
家族間での連絡方法が決まっていなくて、災害時に連絡が取れず、不安を感じることがあります。



改善後
あらかじめ避難場所を決めておいたり、共通の連絡先を確認するなどしておきましょう。また、NTTの災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話各社の災害用伝言サービス等を活用し、家族間での安全を確認するルールを決めておきましょう。事前にそうしたサービスの利用方法を確認しましょう。



おすすめ！わが家の防災対策！

実際に、ご家庭で防災対策を取られている事例を紹介します。

小川さん（中原区在住）の場合



（避難グッズを常備）
クオータータンク10L×2個、非常用トイレ10回×2個、ガスボンベ、簡易ガスコンロ、カンテラ、懐中電灯、簡易ラジオ（家具の転倒防止）
本棚が倒れないよう緩衝材を利用。棚と天井の間にあつち張り構造。

田口さん（中原区在住）の場合



（普段のリベックの中にも）
水、ハサミ、ホイッスル、ペンライト、メモ用紙、鉛筆、パントエイト、個人情報記載している用紙、家族の処方箋
他にも、玄関の外に飲料水30ケース、ヘルメット、ラップ、等を用意しています。

